

第 88 回東部総会 ダイバーシティ委員会企画プログラム

<指導医コース>

会長：北海道大学医学部泌尿器科 篠原信雄教授

会場：ロイトン札幌 日時：10月6日（金）16:25-17:40

テーマ 「泌尿器科医の働き方&生き方のダイバーシティ」

座長：北海道大学医学部泌尿器科 篠原信雄

昭和大学医学部泌尿器科 前田佳子

基調講演

徳島大学泌尿器科 山本恭代

「ダイバーシティ推進委員会の女性座長数増加に向けた取り組み」

JUA ダイバーシティ推進委員会で指導医資格を有する女性会員対象に行った座長候補者リストについてのアンケート調査の結果を分析報告した。また作成した座長候補者リストは各大会長（事務局）に提出され、各総会、支部総会で女性座長数が3%以上を到達しリスト作成の成果を報告した。

京都桂病院泌尿器科 小河孝輔

「男性が育児休暇を取って見えてきた世界」

まだ日本では珍しい男性医師の育児休暇について体験談を発表した。職場の理解と協力を得て出産後、休暇を取り育児に関わった経験が貴重であったことを述べた。

筑波大学医学部泌尿器科 石橋小百合

「Work life balance 実現のために」

後期研修医中に妊娠出産を2度経験し、育児と仕事を行っている経験を報告した。

東京大学医科学研究所附属病院泌尿器科 高橋さゆり

「医局員の産休・育休マネジメントの課題」

女性医局員数約30人の東京大学泌尿器科における work life balance とそのマネジメントについて報告した。一人一人の医局員としての経歴を評価し、女性医局員がキャリアと育児を両立するのに十分な支援があると言い難い現状であったことを述べた。また女性医局員が6割以上を占める東京大学医科学研究所の女性支援に対する様々な取り組みについても報告した。

昭和大学医学部泌尿器科 押野見和彦

「喝！医師の心構えとプロフェッショナリズム」

いままで演者世代が持っていた医師の心構え、「休日も毎日診察」「24時間コール対応」といった暗黙のしきたりが、時代とともに通用しなくなりつつあることを発表した。医局に女性医師が増えたことでライフイベントへの配慮など多様性への対応が迫られている。これからはタイムパフォーマンスの良い自己研鑽ができるよう環境整備することが重要であると述べた。

医療法人インテグレス 伊勢呂哲也

「泌尿器科開業医としての新しい生き方について」

2019年に第三者承継としてクリニックを開業し瞬く間に5つ目のクリニックを開業に至った経験を報告した。泌尿器科単独の勤務医とは異なり胃カメラの手技や幅広い診療に関する知識の習得、経営に関するスキルなどを身に着ける必要性を述べた。また借金の大切さ、チャレンジの楽しさ、経営の楽しさなどについて紹介した。

総合討論

演者6名が登壇し、会場の聴衆の意見も交え、演者と座長とのQ&Aが繰り広げられた。最後に「生まれ変わっても泌尿器科医になるか」という質疑応答で締めくくられた。



写真提供：山本恭代先生